

ポルトガル月報

2018年11月

(本月報は報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです)

在ポルトガル日本国大使館

【主要ニュース】

【内政】★ユーロソングージェン社の世論調査結果—11月

【外交】★コスタ首相のスペイン訪問／★ロウレンソ・アンゴラ大統領のポルトガル訪問

【経済】★ウェブ・サミット2018の開催／★2019年度政府予算案の最終全体採決

内政

●レベロ・デ・ソウザ大統領が第一次世界大戦終戦100周年記念軍事パレードに出席

11月4日、レベロ・デ・ソウザ大統領は、リスボンで開催された第一次世界大戦終戦100周年記念軍事パレードに出席した(コスタ首相、フェロ・ロドリゲス共和国議会議長、ゴメス・クラヴィーニョ国防大臣出席)。同式典には軍人約3437人、国家警備隊員390人、治安警察官390人、元軍人160人、ドイツ、米国、フランス及び英国の軍人80人、及び国防学校の生徒180人がパレードに参加した。

●コスタ首相がドイツ社会民主党の討論会に参加

11月10日、コスタ首相は社会党書記長として、ベルリンで開催されたドイツ社会民主党(SPD)主催の討論会に参加し、ポピュリズム、排外主義、保護貿易主義及び過激主義と闘うためには社会主義者及び社会民主主義者を動員することが重要である旨述べた。同討論会にはアンドレア・ナーレス・ドイツ社会民主党(SPD)党首及びアレクシス・チブラス・ギリシャ首相が参加した。

●地方分権化を具体化する政令の閣議決定

11月15日、ポルトガル政府は、8月16日に成立した「地方自治体等への権限委譲に関する枠組み法」に関し、保健、内陸部の水上旅客輸送、港湾区域(港湾活動を除く)と都市区域、及び保護地域の管理に関する4本の政令を閣議決定した。今次決定により、同

枠組み法に基づく合計21本の政令が完了した。

●タンコス陸軍基地武器盗難事件に関する議会調査委員会の発足

11月14日、タンコス陸軍基地武器盗難事件の内部関係者の責任を把握すること等を目的としている共和国議会の調査委員会(委員長:ネト・ブランダオン社会党(PS)議員)が発足した。同委員会の期間は最大で180日間とされている。

★ユーロソングージェン社の世論調査結果—11月

11月17日、週刊エスプレッソ紙はユーロソングージェン社が実施した世論調査結果を発表した。与党・社会党(PS)の支持率は0.4ポイント上昇し、最大野党・社会民主党(PSD)の支持率は0.7ポイント下落した。18年5月以降の政党別支持率は以下のとおり。

%	18年					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月
PS		42.0		41.4		41.8
PSD		27.3		27.5		26.8
BE	未実	7.9	未実	8.0	未実	7.7
CDU	施	7.3	施	7.7	施	7.0
CDS		7.5		6.9		7.0
PAN		1.1		1.1		1.8

■調査期間:11月7~14日、対象者:ポルトガル本土居住の18歳以上の有権者1018人、調査方

式：電話帳から固定電話番号を無作為に抽出、回答率：85.7%、統計上の誤差：3.07%

■PS=社会党、PSD=社会民主党、BE=左翼連合、CDU=統一民主連合（ポルトガル共産党・緑の党）、CDS=民衆党、PAN=人と動物と自然の党

外交

●カポウラス・サントス農業・森林・地方開発担当大臣の訪中

11月4～5日、カポウラス・サントス農業・森林・地方開発担当大臣は、上海で開催された中国国際輸入博覧会（CIEE）に参加するため、またポルトガル産農産物の中国市場への更なる輸出拡大を促進するために中国を訪問した（メデイロス・ヴィエイラ農業・食糧担当副大臣同行）。4日、同大臣は、中国の大手輸入関連企業の幹部と会談した後、習近平国家主席主催CIEE夕食会に出席した。5日、同大臣は、CIEEの開会式に参加した後、中国の農業及び地方担当大臣、及び通関担当大臣と会談した。

●カブリタ内務大臣がアカバ・プロセス会合に参加

11月5日、カブリタ内務大臣は、ハーグで開催されたアカバ・プロセス非公式会合に参加した。同会合は、ヨルダンのアブドゥラー国王が自ら議長を務めるテロ・暴力的過激主義に関する議論の場であり、ポルトガルが参加するのは今回が初めて。カブリタ内務大臣は、ポルトガルが2021年上半期に欧州理事会の議長国を務める際の準備として、欧州連合と北アフリカ、特にマグレブ諸国との間に安全保障及び国境管理の他、経済発展、保健、教育分野等において協力することが重要である旨述べた。

●レベロ・デ・ソウザ大統領の仏訪問

11月10～11日、レベロ・デ・ソウザ大統領は、マクロン・フランス大統領の招待を受け、パリで開催された第一次世界大戦終戦100周年記念式典に出席するため、フランスを訪問した（ゴメス・クラヴィーニョ国防大臣同行）。10日、同大統領は、パリ市内でポルトガル人芸術家による展示会を鑑賞した後、マクロン大統領主催の夕食会に出席した。11日には、

パリ平和フォーラムの開会式に出席した。

●レベロ・デ・ソウザ大統領がイベロアメリカ・サミットに出席

11月15～16日、レベロ・デ・ソウザ大統領は、グアテマラで開催された第26回イベロアメリカ・サミットに出席した（サントス・シルヴァ外務大臣同行）。同サミットのマージンで、同大統領はアルバラード・コスタリカ大統領、ビスカラ・ペルー大統領、バレーラ・パナマ大統領及びモラレス・グアテマラ大統領と会談した。

●サントス・シルヴァ外務大臣及びゴメス・クラヴィーニョ国防大臣が欧州外務理事会会合に出席

11月19～20日、サントス・シルヴァ外務大臣及びゴメス・クラヴィーニョ国防大臣は、ブリュッセルで開催された欧州外務理事会会合に出席した。同会合では、常設軍事協力枠組み（PESCO）、軍事モビリティ、軍事計画行動能力及び平和維持活動を含むEUグローバル戦略の実施、及びEU・NATO関係等に関する議論がされた。

19日、ゴメス・クラヴィーニョ国防大臣はNATO本部を訪問し、ストルテンベルグ事務総長と会談した。

●フェロ・ロドリゲス共和国議会議長の訪中

11月19～20日、フェロ・ロドリゲス共和国議会議長が中国全人代委員長の招待により中国を公式訪問した（ソウザ・ピント外務及びポルトガル人コミュニティ委員会会長、メンデス・ポルトガル・中国友好議員連盟会長、レイタン・アマーロ・ポルトガル・中国友好議員連盟副会長、アマラル・民衆党議員、フィリップ・ポルトガル共産党議員同行）。

★コスタ首相のスペイン訪問

11月21日、コスタ首相は、スペインで開催された第30回西葡首脳会談に出席した（サントス・シルヴァ外相、カブリタ内務相、シザ・ヴィエイラ首相補佐・経済相、エイトール科学技術・高等教育相、ブランダン・ロドリゲス教育相、ヴィエイラ・ダ・シルヴァ労働・連帯・社会保障相、マルケス企画・インフラ相、マトス・フェルナンデス環境・エネルギー転換相、カポウラス・

サントス農業・森林・地方開発担当相同行)。コスタ首相とサンチェス西首相の会談の他、分野別の閣僚会合が開かれた。首脳会談後、コスタ首相は、ツイッターにおいて、「我々はポルトガル及びスペインの国境地帯の発展のための共同戦略を明確にした。市民保護、科学、雇用、教育、安全保障、農業及び環境分野に関する共同イニシアティブも進展させた」旨述べた。

★ロウレンソ・アンゴラ大統領のポルトガル訪問

11月22～24日、ロウレンソ・アンゴラ大統領がポルトガルを公式訪問した。22日、同大統領はベレン地区での名誉礼及び歓迎式典にて迎えられ、ポルトガル大統領府にてレベロ・デ・ソウザ大統領と会談した後、エンリケ航海王子勲章大綬章を受賞した。同日午後には国会の特別セッションにて演説した他、リスボン市長主催の歓迎式典に出席し、オエイラス市の国立農学研究所を訪問した。23日にはポルト市へ移動し、ポルト市主催の歓迎式典に出席した後、ボルサ宮（ポルト商工会議所本部）にてコスタ首相との会談を実施し、二国間協力に関する医療、法務、学術、環境、文化、観光等のテーマについて13の合意文書に署名した。ロウレンソ大統領は、続いてポルト市内で開催されたポルトガル・アンゴラ経済セミナーの閉会式において挨拶した。両国首脳会談後、コスタ首相は、ツイッターにおいて、「今次訪問の政治的意味の他、具体的な成果である法務及び犯罪捜査、保健、高等教育、科学、技術及びイノベーション、環境、青年、文化、及び観光分野の二国間協力に関する合意文書を署名することができた」と述べた。

●ラブロフ露外相のポルトガル訪問

11月24日、ラブロフ露外相がポルトガルを訪問し、サントス・シルヴァ外相と会談した後、二国間政務協議に関する覚書に署名した。会談後の共同記者会見において、サントス・シルヴァ外相は、ポルトガルは、欧州連合とロシア間、及びNATOとロシア間につき政治対話を維持することが重要である旨述べた。同日、ラブロフ外相はレベロ・デ・ソウザ大統領を表敬した。

●コスタ首相が臨時欧州理事会に出席

11月25日、コスタ首相は、ブリュッセルで開催された臨時欧州理事会に出席した。英国のEU離脱協定案を承認した同理事会後、コスタ首相はツイッターにおいて、「これが英国におけるポルトガル人の権利及び利益を守る最良の解決策であり、今次交渉において我々の優先事項であった。将来の関係は強固な経済協力、安全保障・防衛、及び多国間主義の評価を踏まえたものになるであろう」と述べた。

●大西洋国際研究センター（AIRセンター）の実現に向けた覚書署名

11月26～27日、エイトール科学技術・高等教育大臣は、カナリア諸島で開催されたアソーレス諸島大西洋国際開発センター（AIRセンター）の設置に向けた第4回国際会議に出席し、同会議のマージンで、AIRセンターの実現を目的としたパートナーシップ構築に関する覚書に署名した。

経済

★ウェブ・サミット2018の開催

11月5～8日、リスボン市東部のオリエンテ地区で世界最大級のテクノロジー関連イベント「ウェブ・サミット2018」が開催され、延べ159か国から約7万人の参加者、1800社のスタートアップ企業、1500人以上の投資家、1200人以上のスピーカーが来場した。また、世界の有名IT関連企業が多数出展するほか、国内外の政府代表者を交えた様々なイベントやシンポジウムが連日行われた。

5日の開会式には、ウェブを開発したティム・バーナーズ・リー氏、グテーレス国連事務総長及びコスタ首相、8日の閉会式には、レベロ・デ・ソウザ大統領が挨拶を行った。

●ポルトガルと中国による宇宙及び海洋に関する共同研究所設立の発表

11月6日、エイトール科学技術・高等教育大臣は、ポルトガルと中国が「STARLAB」という宇宙及び海洋に関する研究と技術開発のための共同研究所を設立する旨発表した。同研究所は、宇宙及び海洋に関

する知識を高めつつ、持続可能な利用のための研究及び技術システムの開発を主な目的とし、マトジーニョス市及びペニシエ市に設置される研究センターにおいて小型衛星の製造を行う予定。両国は今後5年間にかけてそれぞれ2,500万ユーロ（合計5,000万ユーロ）を投入し、ポルトガル側は公的資金の投入及び民間セクターからの資金調達を予定、中国側は中国科学院が全ての資金を調達する方向で検討している。

●第3四半期失業率、6.7%を維持

11月7日、ポルトガル国立統計院（INE）は、2018年第3四半期の失業率が、前期比の6.7%を維持した（前年同期比1.8ポイント減）と発表した。

INEの統計によれば、失業者数は35万2,700人（前期比0.2%増；前年同期比20.6%減）で、このうち、若年層失業率（15～24歳）は20%（前期比14.3ポイント増；前年同期比15.1ポイント減）の7万9,100人。男女別失業率では、男性が6.2%、女性が7.2%。また、地域別失業率では、マデイラ自治州（8.9%）、アソーレス自治州（8.7%）、北部地域（7.2%）及びリスボン首都圏（7.1%）でポルトガル全土平均を上回り、アレンテージョ地域（6.6%）、中部地域（5.4%）及びアルガルヴェ地域（5.0%）で平均を下回った。

●経団連ヨーロッパ地域委員会委員長一行のポルトガル訪問

11月7～10日、経団連ヨーロッパ地域委員会委員長一行（団長：佐藤義雄ヨーロッパ地域委員長（住友生命保険会長）、越智仁ヨーロッパ地域委員長（三菱ケミカルホールディングス社長））がポルトガルを訪問した。8日、同一行はコスタ首相を表敬し、9日は、ポルトガル投資貿易振興庁（AICEP）主催ビジネスセミナーに出席した他、シャンパリモー財団視察、レベロ・デ・ソウザ大統領、及びサントス・シルヴァ外務大臣表敬が行われた。

●第1回アリババグループ・フォーラムの開催

11月29日、リスボンにおいて、「中国におけるポルトガル企業の玄関口：Eコマース、技術及びイノベー

ション」と題した第1回アリババ・フォーラムが開催された。同フォーラムには約300名のポルトガル人企業関係者が出席し、アリババグループのクラウドサービス、通販ウェブサイト、支払い方法、中国人顧客のデータへのアクセス等に関する発表が行われた。同日、アリババグループとポルトガル投資貿易振興庁（AICEP）との間で通信販売を通して対中輸出を目指しているポルトガル人企業家をサポートする旨の合意文書が署名された。

★2019年度政府予算案の最終全体採決

11月29日、2019年度政府予算案は、与党・社会党及び同政権に閣外協力する左翼連合、共産党、緑の党の他、人と動物と自然の党の賛成多数で、共和国議会で可決された。野党・社会民主党及び民衆党は反対に回った。

コスタ首相は同日、「共和国議会は現国会期の最後となる2019年度政府予算案を承認した。我々は緊縮経済から抜けだし、財政赤字を0.2%に削減した」とツイッターに投稿した。

（了）